

日野市社会福祉協議会 地域支援係をよろしくお祈いします！！

日野市社会福祉協議会は、地域の皆さまと共に地域の福祉を推進する組織として、様々な事業や行事を行っています。12月6日（日）には歳末たすけあいバザーを日野市立中央福祉センターで行います。この収益金は、高齢者や障害者の支援、防災・災害支援の取組など、地域をよくするために役立てられます。ぜひおいでください！

「地域支援係」は、今年の4月にできた新しい係で、4つの「日常生活圏域」を基に、4人の地域担当職員を配置し、1圏域を2人ずつで担当しています。

地域の皆さまによるサロン活動の支援や、地域での介護予防の取り組みなど、小地域での活動支援や相談を行っています。

現在は、地域の皆さまの活動の場に参加させていただき始めています。皆さまの地域で「こんな集まりがあるよ」「こんな困りごとがあって…」などありましたらぜひ、お声かけください。

また、地域支援係だけではなく、日野市社会福祉協議会全体で、「みんなでつくる豊かなまち日野」の実現に向け努めてまいりますので、今後ともよろしくお祈いします。

【問合せ先】 日野市社会福祉協議会 地域支援係 TEL 584-1294

ひの地区 : 小野・高橋
たかはた地区: 多賀・日高
とよだ地区 : 多賀・高橋
ひらやま地区: 小野・日高



日高さん 小野さん 多賀さん 高橋さん

NPO 法人
ひの市民活動団体連絡会よりお知らせ

まち活 日野市で一緒に活動・交流したい人募集！

社会貢献活動に興味がある方！地域での交流の場を探している方、いませんか！？そんな皆さんと日野市で活動している NPO や団体が直接出会える場が、この「まち活」です。ぜひお気軽にお越しください！！

- 日時：平成 28 年 2 月 11 日（木・建国記念日）午後 1 時から 4 時まで。
- 場所：日野市生活・保健センター3 階集会室
- 内容：団体グループの紹介（ポスター展示及び説明）
団体グループの交流、個別相談
参加団体は只今、募集中！

●お問い合わせ先：NPO 法人
ひの市民活動団体連絡会
Tel/FAX:042-581-6144
(Tel 平日 10:00-17:00)

Mail: hino-cagcm@tokyo.email.ne.jp

●共催：NPO 法人ひの市民活動団体連絡会、日野市社会福祉協議会

「歩きたくなるまちづくり」モデル地区“浅川沿い遊歩道”での取組み

日野市では、「歩きたくなるまちづくり」の推進に取り組んでおり、浅川沿い遊歩道をモデル地区のひとつとして位置づけて、ハード・ソフトの両面での取り組みを始めました。

歩くきっかけとなる健康遊具やウオーキングサインを設置するとともに、地域懇談会などを通じて、地域のみなさんからのご意見を承りながら、それぞれの地域で“無理なく歩ける”、“歩きやすい”、“歩きたくなる”環境をどのように整えていけば良いか検討を進めています。

その中の取り組みの一つとして、歩くときにチェックポイントとなる公園や橋などへの距離と消費カロリーのウオーキングサインを設置しました。見どころポイントを示したものなど、いろいろなウオーキングサインがありますので、ぜひ歩きながら探してみてください。



☆みどころポイントは、地域懇談会での意見を参考とさせていただきます。



平成27年度
七生中学校
防災宿泊訓練

■発行日/平成27年11月
■発行・編集/日野市企画部地域協働課
〒191-0011 日野市日野本町 1-6-2
■電話/042-581-4112

▲七生中学校防災宿泊訓練の様子

地域がつながるフリーペーパー

「地域かわら版」は、中学校区別で発行している地域情報誌です。地域で活動している取組を紹介しています。

この地域かわら版を読み、

「こういう活動している人がいるんだ」と知ること、

「今度行ってみようかな」と参加すること、

「自分も何か活動してみようかな」と行動すること

のきっかけになれば幸いです。



平成 27 年 6 月 27 日(土)、七生中学校食堂を会場に、七生中地区の地域懇談会を行いました。

この懇談会では、参加者が各班に分かれ、地域の課題を考え、地域住民自らが解決するための「アクションプラン」を考えました。

その「アクションプラン」を絞り込み、形にするための「アクションプラン検討会」を 10 月より、地域懇談会に参加し、有志として手を挙げてくれた方々と、地域サポーターの有志で「チーム七生」とし、検討会を始めました。

ここに参加してくれている方々は、七生中地区を愛し、より良くしたいという一致した思いで集まっているため、活発な意見が数多く出されていました。今後は地域のみなさんが一緒にでき、わくわくするようなプランを考えていきます！そのプランは、次回地域懇談会でお披露目となりますので、ご期待ください！



▲アクションプラン検討会当日の様子

地域でつくる七生中学校防災宿泊訓練

～コラボレーションのチカラ～

初めての取組として、七生中学校と日野市社会福祉協議会、自治会をはじめとする地域の方々の協働で、防災宿泊訓練を8月29～30日の1泊2日の日程で実施しました。生徒にとっても、地域にとっても防災について考える機会となり、地域の一体感を感じる宿泊訓練となりました。

七生中学校のチカラ



社会福祉協議会のチカラ



地域のチカラ



◀七生中学校 中村 宏 校長先生
七生中で初めての防災宿泊訓練を8月29～30日の1泊2日の日程で実施しました。これは学校と地域・関係機関の協働事業として、中学生の防災意識を高め、災害発生時に地域に貢献できる防災技術を生徒に身に付けさせることを目的として計画した訓練です。

また、本年度中に七生中にも地域防災倉庫が設置されることを受け、災害発生時における避難者受け入れを想定し、必要な施設・設備・物品等の整備に向けた情報を集約することも、この訓練のねらいの一つでした。

今回は応募した7名の生徒と、学区内の自治会の皆さんと一緒に炊き出し訓練や、避難場所の設置訓練を行いました。何人かの自治会関係の方には実際の教室に段ボールを敷いて一晩泊まっておられました。訓練を通して、アルファ米の調理や簡易トイレの設置など、最新の避難用品の質の高さには目を見張るものがありました。一方で、教室に寝るのは少人数でも狭苦しい印象で、実際の避難生活の厳しさを垣間見ることもできました。今後も地域・関係機関と連携しながら継続的に取り組んでいきたいと考えています。

地域でつくる七生中学校防災宿泊訓練
これまで大規模災害の教訓で、日頃から地域の人との顔の見える関係づくりが力になることを私たちは学びました。社会福祉協議会では、東日本大震災以前より地域でつくる防災プログラムの企画のお手伝いをしています。今回の訓練の企画中心メンバーは、日頃から地域の子供たちの見守り活動や支援をしている人たちです。訓練には、七生中学校の生徒をはじめ、多くの地域の人に参加しました。訓練では、地域の人が初めてマッチで火を付ける子どもや慣れない手つきで包丁を使う子どもへ教えることにより、自然と交流が生まれる内容になりました。「継続は力」と言いますが、来年はさらに多くの人が一緒になって実施できる訓練になればと思います。



日野市社会福祉協議会

宮崎 雅也さん▶



8月末、七生中で防災宿泊訓練が行われました。訓練内容は上水道取水訓練、担架搬送訓練、炊き出し訓練など。そしてメインとなる訓練が段ボールとタオルケット一枚で、実際に教室で就寝する宿泊訓練です。参加は七生中学生7名と地域有志の方を含む約30名。
この訓練での合言葉は「失敗してもいいんだよ」。実際に避難所生活を強いられれば、様々な状況に適応していかなければなりません。今回はその為の疑似体験なのですから、どんどん失敗しその経験を次の訓練に生かせばいいのです。
早速、炊き出し訓練の際アルファ米をこぼしてしまう事態が・・・。「失敗してもいいんだよ」すかさず周囲からフォローの声。時には笑いの起こる、為になる二日間になりました。来年も第二回目を開催する予定です。訓練参加の七生中学生が地域の防災リーダーになる事を期待しながら。

七生中防災宿泊訓練 実行委員会委員長 和田 貴善さん▲

▼松ヶ丘自治会の皆さん



今まで松ヶ丘自治会では、自主防災組織はありませんでした。震災以降、あちこちで災害が発生し、被害が出ています。いまや対岸の火事ではいられない中、住んでいる自治会員のなかから「地域を守りたい!」の意識で昨年度より自主防災組織を発足しました。今回の防災キャンプはそんな私たちにとって、とても有意義なものでした。

まだよちよち歩きですが、松ヶ丘から災害被害者を出さない!を合言葉に頑張っていきます。(文：松ヶ丘自治会会長 熊谷 久孝)

10月3日に七生中食堂にて「避難所運営の手順と方法」についての講演会を開催いたしました。日野市内でも今年2回学校の体育館を避難所として開放いたしました。利用された小学校もあったようですが大事には至っておりません。いつどのような災害が起きるかわかりません。そのためにも避難所運営に活用できる、このような防災キャンプの取組の一つ一つが大切です。今後とも校長先生方と話し合って企画をしていきたいです。

七生中防災宿泊訓練 実行委員会 野澤 一弘さん▶



参加者の声 七生中学校3年 高橋 桐梨さん



東日本大震災から4年経つ。自分が住む地域を守るには、自分たち自身で防災意識を高め、災害発生時に地域に貢献できる防災技術を身に付けさせることを目的として計画した訓練です。
 今回の訓練は、7名の生徒と、学区内の自治会の皆さんと一緒に炊き出し訓練や、避難場所の設置訓練を行いました。何人かの自治会関係の方には実際の教室に段ボールを敷いて一晩泊まっておられました。訓練を通して、アルファ米の調理や簡易トイレの設置など、最新の避難用品の質の高さには目を見張るものがありました。一方で、教室に寝るのは少人数でも狭苦しい印象で、実際の避難生活の厳しさを垣間見ることもできました。今後も地域・関係機関と連携しながら継続的に取り組んでいきたいと考えています。
 炊き出し訓練を行いました。スタンドパイプを体験しました。

防災宿泊訓練を体験して 3年2組 高橋桐梨

▼炊き出し訓練を行いました。



▲スタンドパイプで引き上げた水の
水質調査をしました。

▼スタンドパイプを体験しました。

